

学童保育室について

菊名 克典



問 現在、学校から出される宿題ではタブレットを使用するものがある。しかし、学童保育室内ではタブレットの使用ができないため、宿題をすることができない。子どもたちの学びを滞らせないためにも、学童でもタブレットをネットに繋げ、学べる環境を構築する予定はあるか。

答 基本的に学童保育室内においてタブレットを使用した学びを行うことは、児童の成長にもつながるものであると考える。そのため、タブレット使用にあたっての環境面や運用面の課題を整理し、可能なところから取り組むよう検討を進めていく。

問 学童保育室運営アプリ「コドモン」には様々な機能が、その中に児童の入退室時間をICカードやQRコード、タッチパネルといった方法で正確に記録する方法がある。記録することで保護者にメール/プッシュ通知することができるが、このような機能を使っているか。

答 コドモンのシステム機能について必要性の高いものから順に活用してきた。入退室管理機能についても現場の意見を聞きながら早期に取り組めるよう調整を行っていく。

屋外プール跡へ小中水泳授業・幼児用屋内外プールを

小野 潔



問 全国的に小中学校のプールの老朽化が顕在化しており、熱中症対策、教員の水泳授業の負担感への配慮も取りざたされている。①小中学校水泳授業の状況は。②三輪野江小学校は深刻な老朽化により使用せず、民間施設を利用しているが、委託内容や費用面、教職員の負担感配慮については。③三輪野江小学校以外の小中学校の経年劣化の状況は。④他自治体で策定されている今後の整備方針や基本方針等の策定は。⑤現在東中で使用している公営の屋内プールは、他の小中学校も利用可能か。⑥公営屋外プール跡地へ、小中水泳授業や一般開放ができる屋内プールと幼児等が利用できる屋外プールを併設しては。

答 ①各校年6時間～12時間実施。②補修は3千万円、更新は約3億円、民間委託は106万円、移動バス代40万円でコスト削減になり、教職員の負担軽減にもなる。③栄小、南中、中央中は築後30年が経過し、大規模改修(2億円)が、旭小は築後60年が経過し、更新(3億5千万円)が必要。④年度内には策定する。⑤可能性はあるが協議が必要。⑥提案の趣旨も含め様々な検討をする。

コロナワクチン 秋冬定期接種について

宮窪 雅一



ワクチン接種は強制するものでも、されるものでもなく、メリット、デメリットの正確な情報提供により自己判断で行うのが大前提です。

問 インフルエンザワクチンを含めた全ワクチンの健康被害救済制度認定数は、過去45年間で3522件、うち死亡認定151件に対し、コロナワクチンは過去3年間(8月22日現在)で7970件/777件となっており、健康被害が大きいと言わざるを得ない。コロナワクチンに関するメリット・デメリットについて、より詳細な情報を市民に提供すべきではないですか。

答 国で示されたメリット・デメリットをそのままお伝えするに尽きると考えている。

問 レプリコンワクチンは全世界を見渡しても日本しか認めていないという問題、接種者から非接種者に感染するのではないかと懸念、将来の安全性、人体の細胞内の遺伝機構を利用する等、従来のワクチンとは性質が異なることを伝えるべきでは。

答 国で検証されたものであり、国の示すメリット・デメリットをそのまま市民にお伝えすることに尽きると考えている。

道路・歩道の整備について

赤出川 義夫



問 市道の除草に関する苦情・要望件数と取組みは。

答 令和5年度で83件、令和6年8月末現在で103件。取組みとして、いちよう通りやけやき通りなどの植樹帯設置、27路線のほか、約100か所の市道において、年間約1億円をかけ民間事業者、シルバー人材センターに委託し、樹木の剪定や除草を実施している。

問 いちよう通りやけやき通りの歩道へのベンチを設置出来ないか。

答 当該路線は植樹帯があり、今後、歩道における植樹帯のあり方を検討して行く中で、参考とさせていただきたい。

問 吉川橋から吉川小学校地先の堤防下道路の拡幅の計画は。

答 中川の河川区域内に位置し、幅員約4mの市道です。当該道路には、国が管理する中川の吉川水位観測所の関連施設や、堤防の雨水を排水する水路などが整備されているほか、警察管理の速度規制標識も設置されており、移設の可能性など関係機関に確認し、検討してまいります。